

## お客様との関わり

### 品質保証

「お客様第一」「品質第一」のクルマづくりを実践し、お客様の期待に応える「世界一の魅力あるコンパクト車」をお届けすることを目指しております。そのため、クルマづくりに携わる一人ひとりが品質最優先の意識を持ち改善に努め、全社で連携してお客様の安心と安全、満足度の向上に努めております。

### 「お客様第一」の風土づくり

全社員への「お客様第一」「品質第一」の意識浸透の仕組みとして、品質教育を実施しています。また、トヨタ自動車（株）と連携した品質講話会、品質事例展示会等を定期的開催し、品質に対する問題意識を共有しながら各業務に取り組んでいます。



品質知識を学ぶ



品質教育の日



お客様の生の声を聴き、品質意識を上げる

品質講話会



品質事例を学ぶ



品質事例展示会

### 2016年度 品質向上活動表彰

全社を挙げた品質向上活動の推進により、2016年度トヨタグループ品質向上活動表彰にて、当社は品質が良い工場に授与される品質優良賞を含めた3つの賞を受賞することができました。

- 品質優良賞 (宮城大衡工場)
- 新型車WR賞※ (宮城大衡工場)
- ユニット品質優秀賞 (宮城大和工場)

※ Warranty Reduction (無償修理低減)の略



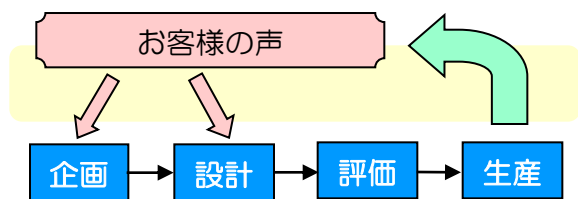
## お客様との関わり

### 人に優しい製品づくり

#### 福祉車両、福祉機器の開発

- 「すべてのお客様に快適な移動の自由を」「お客様の幸せな暮らしのために少しでもお役に立つこと」これを合言葉に、電動車いすや福祉車両などを開発しております。
- 福祉施設や展示会にてユーザーの皆様のご意見をお伺いし、製品開発に活かす活動を進めております。

お客様の声を製品開発へ反映



#### 当社で生産している福祉車両・機器

	使用目的	仕様
福祉車両・機器	助手席への移乗補助	回転シート／昇降回転シート
	後席への移乗補助	回転シート／昇降回転シート
	車いすのまま乗降	リヤスロープ
	自分で運転	移乗補助装置／車いす収納装置
	歩行補助	4WD電動車いす

#### ● 会話によるお客様の声収集



【バリアフリー2016（大阪）】  
シエンタ車いす仕様車（スロープタイプ）

#### ● 実演による商品説明



【国際福祉機器展2016（東京）】  
スパイドに搭載した車いす収納装置を実演



【ウェルフェア2016（名古屋）】  
スパイド助手席リフトアップシート車



【IAUD\*国際会議（名古屋）】  
4WD電動車いす「Patrafour」走破性アピール  
※IAUD = 国際ユニヴァーサルデザイン協議会の略

## 社会との関わり

### 社会貢献活動

地域社会とのコミュニケーションや地域における環境保全活動を通じて、地域社会から信頼される企業を目指し取り組んでおります。

#### 工場見学の受入れ

小学5年生の社会科見学や行政・各種団体等の工場見学を積極的に受入れています。2016年度は本社・宮城大衡、東富士、岩手の3工場合わせて約49,000人のお客様にご来工いただきました。

[詳しくはこちら](#)



#### 結[YUI]ギャラリー

地域の皆様と当社を結びつける空間として、施設名称を「結ギャラリー」と命名。当社の「ものづくり」を目で見て触れて体感いただける展示内容となっています。



本社・宮城大衡 結[YUI]ギャラリー



岩手 結[YUI]ギャラリー

[詳しくはこちら](#)

#### 千年希望の丘 植樹活動への協力（宮城県岩沼市）



#### 地域イベントへの協力



東北子ども博への出展（仙台大学）



マラソン大会への車両協賛  
(松島ハーフマラソン、いしのまき復興マラソン)



## 社会との関わり

### ■ 地元支援活動

東北にある企業として沿岸地域（主に岩手県）の支援を2011年より継続しており、仮設住宅からの引っ越し作業や家屋の修繕・清掃等のお手伝いを行いました。

大槌町・釜石市・陸前高田市・大船渡市 他を中心に支援活動を継続的に実施



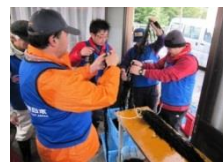
### 地元の支援活動に参加した従業員



## 社会との関わり

### ボランティア活動

東北エリアを中心としたボランティア活動に年間約2,100人（延べ人数）の従業員が参加しました。



南三陸町で農業支援ボランティア（トマト収穫の様子）

### 科学のびっくり箱！なぜなにレクチャーへの参画（秋田県秋田市）

秋田県との共催で工作教室を開催。小学校高学年を対象に、トヨタ自動車技術会講師による「科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー」を実施しました。



### いわて国体運営への参加

2016年10月に岩手県で開催された「いわて国体」の運営に約230人の従業員が参加しました。



### トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーンコンサートへ高校生を招待

トヨタ自動車（株）は復興支援の一環として盛岡にてコンサートを開催しました。当社もこれに協力し、高校生（吹奏楽部員）延べ836人を招待しました。



## 社会との関わり

### 交通安全への取組み

自動車の製造に携わる企業として、地域の皆様や行政の方々と連携を図りながら、社内外において交通事故防止活動を推進しております。

#### 警察署関係者を講師に招き、社内で交通安全講話会を実施



#### 雪道での運転教育実施（新入社員、東北地区赴任者対象）



スリップしやすい道路での運転体験

#### 事業所周辺での交通安全呼びかけ



## 従業員との関わり

### 安全

『一人ひとりがいつまでも安心して働ける職場風土づくり』を目指し、「元気な挨拶と5Sを基本に決められたルールを守る」をスローガンに、全社を挙げて安全活動に取り組んでおります。

#### 安全の取り組み

##### ● 取り組みの考え方

安全を最優先し、災害ゼロを達成するため、下記取り組み事項を重点に活動しています。

- (1) 全員参加の5S※1 推進活動
- (2) 安全な場づくり
- (3) 安全な人づくり

※1 5Sとは 整理・整頓・清掃・清潔・躰をいう

平成28年度 厚生労働大臣表彰  
宮城大和工場が優良賞を受賞



安全衛生に関する水準が特に優秀で、他の模範となる優良な事業場として表彰されました。

##### ● 安全文化の構築に向けて

安全文化の構築を誓い合う狙いで毎年1月13日を「安全を誓う日」として活動しています。



##### ● 全員参加の5S推進活動

「5Sは仕事の基本」との考えのもと、全員参加で職場の5S活動に取り組んでいます。



##### ● 安全な場づくり

作業観察⇒対話⇒対策⇒横展を繰り返し作業安全、場の安全に取り組んでいます。



作業観察

##### ● 安全な人づくり

ヒヤリハットや危険予知訓練、擬似体験など、様々な活動を通して安全感性の向上に取り組んでいます。



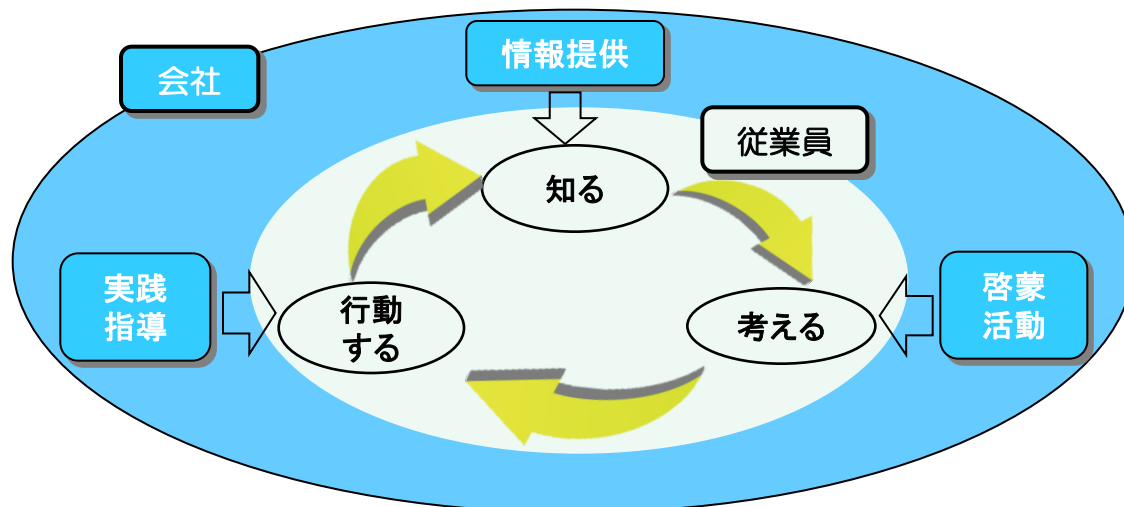
ビデオを活用し自作業の危険を観察

### 健康

#### 心と体の健康づくりの取組み

##### ● 健康管理活動

従業員一人ひとりが健康づくりを実践していけるよう、心身の健康維持・増進につながる施策を推進しております。



#### 1) BMI (※1) 低減活動 ※1 〔体格指数〕 体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

運動習慣づけと食生活指導との両輪でBMI低減活動を推進しています。

- (1) 運動習慣づくりの実施
- (2) 職場スポーツイベントの実施
- (3) 社員食堂でヘルシーランチの提供
- (4) カロリーオフを目指した自動販売機の見直し

#### 2) 喫煙率低減活動

禁煙達成に向けた環境作りを推進しています。

- (1) 就業時間内の禁煙
- (2) 禁煙講話会の実施
- (3) 新成人への禁煙教室の実施
- (4) ニコチンパッチによる禁煙促進
- (5) 全世界禁煙デーでの禁煙イベント



2016年度 禁煙講話会

#### 3) メンタル新規発症者低減活動

発症予防・早期発見に関する取組みを推進しています。

- (1) ストレスチェックに基づく職場診断と対策の実施
- (2) 社内カウンセリング制度の継続
- (3) メンタルヘルス教育の充実



## 従業員との関わり

### 人材育成

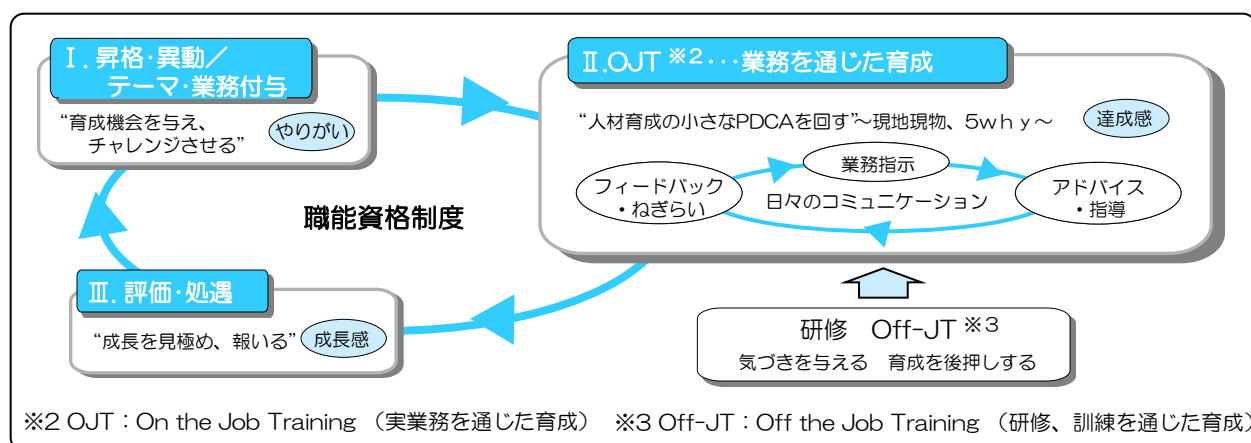
私達は「東北を基盤に 世界一の競争力を持つ 魅力あるコンパクト車をつくる」ことを目指すために、「人が育つ・人を育てる」取組みを進めております。

#### 人材育成の仕組み

人材育成の基本的な考え方は職能資格制度を中心に、人事サイクルをしっかりと回すことです。これを補完する仕組みとして、各種研修制度があります。職場での業務を通じ、上司が部下を一貫性を持って継続的に育成しています。

＜目指す人材像＞

- ・チャレンジ精神に溢れ、自ら育つ、人を育てる人材
- ・現地現物を実践し、知恵を絞りながら改善し続ける人材



#### 研修 Off-JT

##### 1) 新入社員教育

職場配属前に、「学生気分の払拭」「社員としての自覚・責任感の醸成」及び「社員としての基礎知識・能力」を習得します。各講師の講義、技能指導に加えて、先輩社員がアドバイザーとなり、規律訓練や安全運転講習などを行っています。



##### 2) 特別研修

昇格前の選抜研修として、問題解決や人間関係構築（リーダーシップ、チームワーク）のカリキュラムを通じて、現在の資格に求められる能力の確認と、上位資格の役割認識と能力を習得しています。



##### 3) 管理監督者教育

職場力強化へ向け、人材育成を柱とした職場運営に必要な知識・スキルを習得しています。

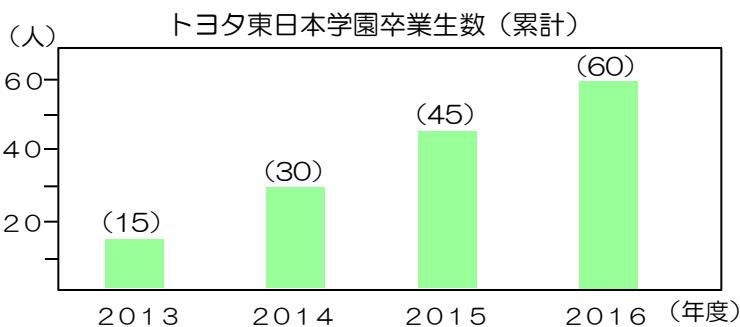


## 従業員との関わり

### 人材育成

#### トヨタ東日本学園

- **ものづくりの基礎・基本を現地現物で学ぶ**  
トヨタ東日本学園では、将来のものづくり現場のリーダーとして活躍できる人材の育成に取り組んでいます。当社の社員だけではなく、東北のものづくり企業の皆様にも受講いただき、人づくりを通し東北のものづくり基盤の強化に取り組んでいます。[②詳しくはこちら](#)



#### 《2015年度 卒業生の声》

自分にも、何か地元でできることがあるはずです。  
今は色々なことを覚えて地域に貢献できる様、日々取り組んでいます。  
そして、いざという時、頼られる人材になります。

### 働き方の多様性

多様な人材が生き活きと働ける環境を作り出すことを目指し、当社では「女性の活躍支援」「定年後の再雇用制度」「障がい者の雇用促進」などにも積極的に取り組んでいます。

#### 企業内保育所の設立

国や地方自治体、近隣企業と協力し、宮城大和工場と岩手工場の敷地内に企業内保育所を開設します。

（2017年9月開設予定）

当社従業員のほか、近隣企業で働く方々や地域住民の皆さんにとっても、働きやすく、住みやすい環境づくりで、東北の復興に貢献していきます。



企業内保育所 完成イメージ図

## 従業員との関わり

### スポーツ活動支援

従業員が一丸となって応援することを通じ、職場の一体感醸成やコミュニケーション向上を目的に3つのスポーツクラブ活動に力を入れております。

[詳しくはこちら](#)

### ■ スポーツクラブ活動

#### ● セーリングチーム

1988年のソウルオリンピック出場を初めとして、2016年リオデジャネイロオリンピックまで7大会連続出場しております。49er級の高橋・牧野選手は2大会連続、RS:X級の富澤選手は3大会連続出場しました。



左から、高橋・牧野・富澤選手

2016年12月にオーストラリアで行われたワールドカップでは、RS:X級の富澤選手が銅メダルを獲得しました。



49er級 高橋・牧野選手



RS:X級 富澤選手

#### ● ハンドボール部

2012年度より国内最高峰の日本リーグに参戦し、日本一を目指し活動しております。

2016年10月の岩手国体では3位、12月の日本ハンドボール選手権ではベスト4の成績をおさめました。



日本リーグ優勝を目指す



全日本社会人選手権でベストセブン賞受賞の玉井選手

#### ● 硬式野球部

「仕事も野球も100%」をスローガンとして、都市対抗野球大会本選出場を目標に、チーム一丸となって頑張っております。



東北代表として全国出場を目指す



親子野球教室開催時の子供さんへのアドバイス

## 従業員との関わり

### 社内イベント

従業員同士の一体感醸成、コミュニケーションの活性化を目的に、様々な社内イベントを開催しています。イベントを通じて親睦も深まり、心身ともにリフレッシュしています。

### TME J<sup>※</sup>フェスティバル

宮城、岩手、東富士（静岡）の各地区でTME Jフェスティバルを毎年開催し、従業員とご家族、グループ会社、地域住民の皆さんと一緒に親睦を深めています。2016年度は、各地区合わせて約5,000の方が来場され、大いに盛り上がりました。

※ TOYOTA MOTOR EAST JAPAN, INC.の略  
トヨタ自動車東日本（株）の英文名



宮城地区でのTME Jフェスティバル

### 社内駅伝大会

社内駅伝大会を毎年開催しております。開催5年目の2016年は、一般の部・シニアの部・ふれあいの部を開催し従業員、家族合わせて約3,100人が参加しました。



### 各地区スポーツイベント

各地区にてイベントを開催しています。職場対抗の運動会やソフトボール大会、ヨット体験会などを通じて従業員の一体感醸成を図っています。



【読者の皆様へ】

ご意見、ご要望をお聞かせいただきたく、こちらのメールアドレスに宜しく  
お願い致します。

[ci\\_ankan@toyota-ej.co.jp](mailto:ci_ankan@toyota-ej.co.jp)

発行部署 トヨタ自動車東日本株式会社 PE・環境室  
〒981-3609 宮城県黒川郡大衡村中央平1番地

お問い合わせ先 PE・環境室 環境グループ  
TEL 022-765-6172  
FAX 022-765-6308

発行 2017年8月



当社の環境ロゴマーク